

PRESS RELEASE

**「i-FILTER」、「m-FILTER」の新オプション機能を5月10日に提供開始
～「Splunk 連携」、「URL カテゴリ判定※」の2機能を追加～**

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下 デジタルアーツ、証券コード 2326)は、Web セキュリティクラウドサービス「i-FILTER@Cloud」とメールセキュリティクラウドサービス「m-FILTER@Cloud」に、Splunk Inc.(本社:アメリカ合衆国カリフォルニア州、President and CEO: Gary Steele、以下 Splunk)が提供する SIEM 製品とのリアルタイム連携機能と、メールセキュリティ製品「m-FILTER」でメール内の URL カテゴリを判定する「URL カテゴリ判定※」を新オプションとして追加し、5月10日に提供開始することを発表します。

サイバー攻撃の増加により、インシデントの検知・復旧等を含むリスク管理の需要が高まる

デジタル化やテレワークが進む昨今、マルウェアに感染させる攻撃手法は高度化・巧妙化し、テレワーク環境やセキュリティ対策の弱点を突くサイバー攻撃は増加傾向にあります。日本国内の企業・組織においても、ランサムウェアや Emotet の感染被害が相次いでいる状況です。

こうした中、サイバー攻撃を予防する対策だけでなく、サイバー攻撃の検知・復旧等を含むリスク管理の需要が高まっています。

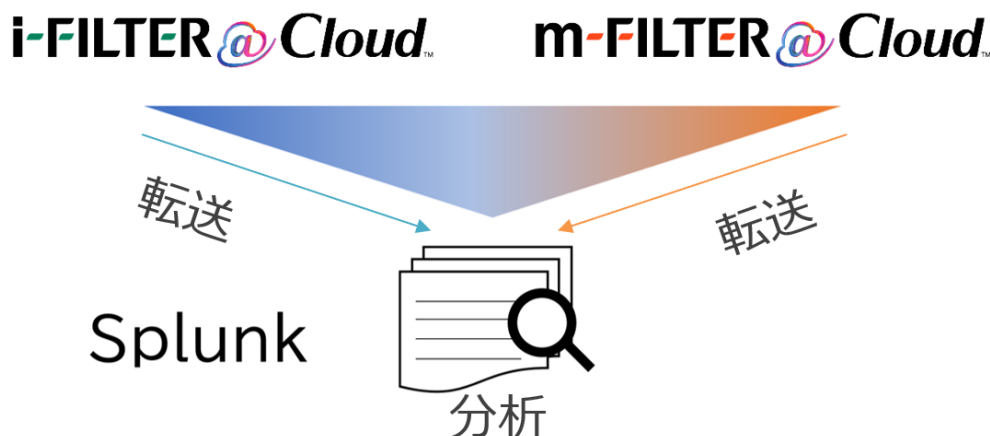
「Splunk 連携」でログの統合管理と迅速な脅威の検知・対応を実現

デジタルアーツは、安全な Web アクセスを実現する「i-FILTER@Cloud」と安全なメールを受信する「m-FILTER@Cloud」を提供しております。デジタルアーツが長年収集した URL とメール情報のデータベースを活用することにより、デジタルアーツが安全と判断した Web サイトとメールのみアクセス・受信できる「ホワイト運用」を実現しています。

「i-FILTER@Cloud」と「m-FILTER@Cloud」は、この「ホワイト運用」に加えて、SIEM 製品「Splunk」と連携します。SIEM は、さまざまなログの相関分析を行い、異常を検知した際はアラートを発信することで脅威を迅速に検知するとともに、相関分析の結果からセキュリティ対策の見直しや改善を図ることができる製品です。Splunk は、マシンデータを元にセキュリティインシデントの検知・調査・分析を実現する製品です。

本連携により、危険な Web アクセスやメール受信があった際には、「i-FILTER@Cloud」、「m-FILTER@Cloud」のログをリアルタイムに Splunk に転送することで、Splunk にて相関分析を実施し、迅速に脅威を検知・分析することが可能です。

また、「i-FILTER@Cloud」、「m-FILTER@Cloud」のログとその他のセキュリティ製品のログを一元的に Splunk で管理できるようになるため、運用負荷を大幅に軽減することが可能です。さらに、「i-FILTER@Cloud」、「m-FILTER@Cloud」のホワイト運用によって取得できる未知の危険サイトをブロックしたログなど独自ログを、他製品のログに活用することが可能なため、セキュリティ対策の見直しや改善にも役立ちます。



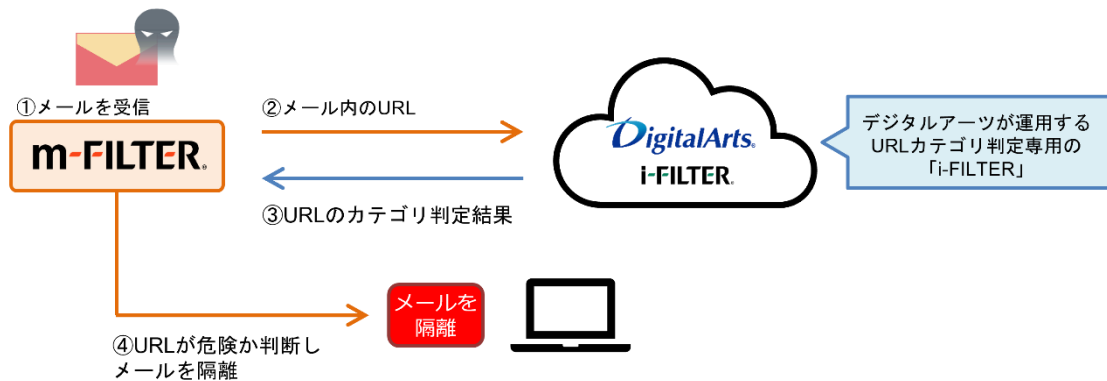
「m-FILTER」のみご利用のお客さま「i-FILTER」の「URL カテゴリ判定※」をオプション利用可能に

「m-FILTER」は、送信元や添付ファイルの拡張子、メール本文中に含まれる URL の偽装判定などが行えるメールセキュリティ製品です。これまで「m-FILTER」をご利用のお客さまが、メール本文内や添付ファイル内の URL について、どのカテゴリに分類されるかを判定する「URL カテゴリ判定※」の機能を使うには「i-FILTER」のご購入が必要でした。

今回、新たにオプション機能「URL カテゴリ判定※」を追加します。これにより、「m-FILTER」のみをご利用のお客さまでも、新オプション「URL カテゴリ判定※」を追加するだけで同機能を利用することが可能になります。URL から危険なサイトへ誘導する攻撃メール対策を「m-FILTER」のみで運用する場合においても、「i-FILTER」のデータベースを活用して危険な URL を判定することができるため、安全面を格段に向上させることができます。

※ 2022 年 12 月 9 日追記

2022 年 12 月 9 日より、「URL カテゴリ判定」は「脅威 URL ブロック」に名称を変更しております。



新オプションの詳細

■「Splunk 連携」

対象製品: 「i-FILTER@Cloud」、 「m-FILTER@Cloud」

価格: 1 ライセンスあたり月額 100 円 (消費税抜き)

※ Splunk 製品をご利用中のお客さまが対象となります。

■「URL カテゴリ判定※」

対象製品: 「m-FILTER@Cloud」、 「m-FILTER」Ver.5

価格: 1 ライセンスあたり月額 100 円 (消費税抜き)

なお、「Splunk 連携」、「URL カテゴリ判定※」ともに年間契約が必要となります。

ブローシャ

[「Splunk 連携」オプションのブローシャ](#)

デジタルアーツ株式会社 概要

Web、メール、ファイルなどのセキュリティソフトウェアの提供を核に事業展開する情報セキュリティメーカーです。

1995 年の創業以来、「より便利な、より快適な、より安全なインターネットライフに貢献していく」を企業理念とし、有害情報の閲覧を制限する Web フィルタリングソフトを開発、以来企業・公共・家庭向けに情報セキュリティ製品を提供しております。

東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエア ウェストタワー14F ▶URL: <https://www.daj.jp/>

<本リリースに関するお問い合わせ>

デジタルアーツ株式会社 広報担当 石井 TEL : 080-8750-0425 / E-mail : press@daj.co.jp

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う在宅勤務実施中のため、お電話でのお問い合わせは上記とさせていただきます

※ デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、i-FILTER@Cloud Anti-Virus & Sandbox、info board、Active Rating System、D-SPA、NET FILTER、SP-Cache、White Web、ZBRAIN、クレデンシャルプロテクション、ホワイト運用、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER Anti-Virus & Sandbox、m-FILTER@Cloud Anti-Virus & Sandbox、m-FILTER File Scan、Mail Detox、m-FILTER EdgeMTA、EdgeMTA、FinalCode、i-フィルタ一、DigitalArts@Cloud、Desk@Cloud、Desk、D アラートおよび D コンテンツその他の弊社・弊社製品関連の各種名称・ロゴ・アイコン・デザイン等はデジタルアーツ株式会社の登録商標または商標です。

※ その他、上に記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。